

下関市立豊北歴史民俗資料館「太翔館」 収藏品展



「豊北コレクション」

くらしと装い



太翔館 2階講堂

2023年
11/14(火)

2024年
2/25(日)

トンボ柄女物衿長着 (豊北歴史民俗資料館蔵)

現在当たり前のように着ている洋服は、明治から昭和にかけては仕事のときや、特別なときに着るもので、普段は和服を着ることが当たり前前でした。しかし、時代の変化と共に、今では夏の浴衣やハレの日に着る着物などの限定的なものとなっています。

人々がくつろぐときや働くときで着る服を変えるように、和服も場面に合わせて着用するものを変えていきました。

本企画展では、当館で収集された着物を中心とした衣服を紹介するとともに、近現代の衣生活の変化、着古された着物の利用法など、人々の暮らしと装いの関わりについて解説します。

洋服が浸透した現在もお、日本独自の文化として愛され続けている和服を通して、繰り返し使える資源としての布のあり方を考えていただく機会となれば幸いです。



磯で遊ぶ和服姿の少女たち



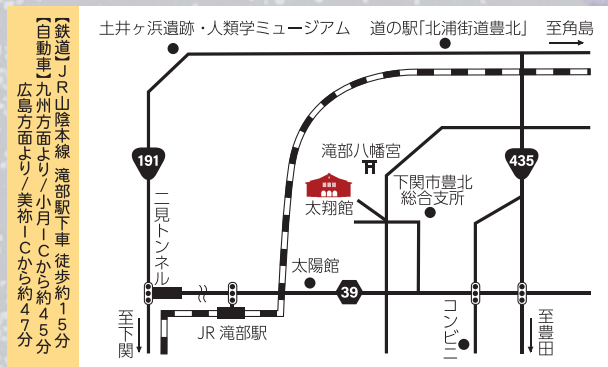
既婚女性の晴着 留袖 (豊北歴史民俗資料館蔵)



子どものハマイデ着 (豊北歴史民俗資料館蔵)



和裁に使う道具 (豊北歴史民俗資料館蔵)



展示・イベントの最新情報はコチラ

Facebook

Instagram

【開館】
9:00~17:00(入館は16:30まで)

【料金】入館観覧 無料

【休館】
月曜日(月曜祝日の場合は翌平日)
年末年始(12/29~1/3)

【主催】
豊北歴史民俗資料館「太翔館」

豊北歴史民俗資料館「太翔館」
〒759-5511 下関市豊北町大字津部3153-1
TEL&FAX 083-782-1651